

山を愛し、挑み続ける92歳

中村 康雄^{やすお} さん

(毛呂山町体育協会山岳部所属)



92歳のアルピニスト

毛呂山町山岳部に所属する中村康雄さんは、御年92歳にして、現役の登山家である。

中村さんが、登山にはまったのは15歳のころ。実兄に山梨県にある三ツ峠に連れて行ってもらった時からで、それから70余年もの間、山登りを続けている。

「山頂から見る景色の素晴らしさに感動して、この感動が味わえるならと、山登りを続けるようになりました」と語る中村さんであるが、全盛期には年間60〜70日も山登りに費やしていたという。今でも月に一度は、山に向かっていく。「1か月に一度くらいは、山に登らないと体がなまってしまいます」と話す。

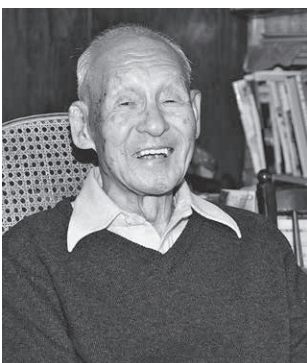
日本三百名山踏破

「まだ見ぬ景色を求めて、山に登ることが好きなので、すでに日本の全ての山に登ったのではないでしょうかと晴れやかに話すが、

日本百名山はもとより、三百名山をも踏破したという。なかでも北アルプスを縦走することが好きで、夏冬問わず何度も訪れたという。「高い山には、高い山ならではの花や景色に出会えます。夏山には夏山の良さがあり、冬山には冬山の良さがあります。特に北アルプスは、それが顕著なのが、何度も登っている理由です。」

生涯現役宣言

現在の中村さんにとっては、山岳部に所属する皆さんとわいわい山登りをすることが楽しみだという。「まだまだ体が動くうちは、現役で山登りは続けますよ。歩き続けることが私の健康法なんです」とあっけらかんと笑う中村さん。御年92歳とは思えないほど元気でいる源は、そういうところにあるのかもしれない。



中村 康雄さん (92)